

人口ビジョン 2060年中長期展望	茨城県まち・ひと・しごと創生総合戦略 ＜計画期間：2015年度（平成27年度）～2019年度（平成31年度）の5年間＞		
＜人口の将来展望＞	基本目標（数値目標，H31）	施策展開の基本方針	具体的な施策（○：21の重点施策）
<p>本県総人口 2010年：297万人</p> <p>（パターン①） 出生率が国の長期ビジョンの水準まで上昇※し、移動率が震災前の水準に回復</p> <p>2060年に『223万人』 程度 ※合計特殊出生率が、2030年に1.8、2040年に人口置換水準の2.07へ上昇</p> <p>（パターン②） さらに、移動率がUJターンや地元就職の希望を満たした水準まで上昇</p> <p>2060年に『241万人』 程度</p> <p>（参考） 社人研に準拠した推計</p> <p>2060年に『190万人』 程度（2010年から107万人減少）</p>	<p>1 本県における安定した雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆雇用創出数 H27～H31 累計 10,000人 ◆若年者正規雇用者割合 66.5% (H24:64.9%) ◆女性有業率（25～44歳） 73.0% (H24:70.3%) ◆工場立地件数 50件（毎年同数）(H22～H26平均:43件) ◆観光消費額 2,593億円 (H26:2,260億円) <p>2 本県への新しいひとの流れをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人口の社会移動数 H27～H31の5年間における転入転出者数を均衡 (H22～H26:△20,569人) ◆観光地点等入込客数（延べ人数） 5,700万人 (H26:5,075万人) <p>3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆いばらき出会い林[※]-センター利用者等の成婚数 2,500組 (H26:1,366組) ◆マリッジ[※]林[※]-ター数 1,100人 (H26:841人) ◆保育所等の待機児童数 0人 (H26:227人) ◆合計特殊出生率 現状より増加 (H26:1.43) <p>4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域公共交通網形成計画策定市町村数 37市町村 (H26:2町村) ◆立地適正化計画（コンパクトシティ実現に向けた計画）策定市町村数 5市町村 (H26:—) ◆教育・研修旅行参加者数 5,000人 (H26:4,348人) 	<p>① つくば・東海の最先端科学技術や我が国を代表するものづくり産業の集積等を生かして、イノベーションを絶えず生み出し、21世紀の日本の科学技術、ものづくり等をリードする活気にあふれた県づくりを進める。</p> <p>② 全国第2位の農業をはじめ、中小企業、サービス産業等の生産性の向上や海外展開の促進等を図り、生産年齢人口の減少に負けない稼げる産業づくりを進める。</p> <p>③ 東京に近接し広域交通ネットワークも整備された本県の立地優位性を生かすとともに、地域ブランドを確立して、更なる企業立地や、移住、観光誘客、MICE誘致など、ひと・もの・資金・技術等を積極的に呼び込む。</p> <p>④ 生涯にわたり健康で生きがいを持って暮らせるまちづくりや、女性や若者が活躍できる仕事の創出、男女が協力して家庭を築き、子どもを産み育てやすい環境づくりを進める。</p> <p>⑤ 更なる人口減少に備え、市町村や企業・関係団体等と連携して、地域医療や交通手段などが確実に確保され、災害にも強く安心して暮らせる地域づくりを進める。</p>	<p>1 本県における安定した雇用の創出</p> <p>(7)本県に集積した最先端科学技術等を活用した新産業・新事業の創出 ○最先端の科学技術の集積を活用した未来産業の創出 ○ロボット産業の育成等</p> <p>(4)新たな時代を見据えた新産業・新事業の創出 ○コンテンツ産業の育成 ○IoT等による新ビジネスの創出</p> <p>(ウ)ものづくり産業・地場産業・サービス産業の生産性向上等 ○中小企業の競争力強化</p> <p>(エ)農林水産業の成長産業化 ○6次産業化・農商工連携の促進 ○県産農林水産物の輸出拡大</p> <p>(オ)魅力ある観光産業の振興 ○おもてなしの向上と国内外からの誘客促進</p> <p>(カ)企業等の国内外からの誘致の促進 ○企業誘致の更なる推進</p> <p>(キ)地域医療やまちづくりに必要な人材の育成・確保 ○医療・福祉分野における人材の育成・確保</p> <p>(ク)誰もが活躍できる雇用環境の整備 ○高齢者の活躍推進</p> <p>2 本県への新しいひとの流れをつくる</p> <p>(7)東京圏から本県への移住等の推進 ○移住・二地域居住希望者等への支援</p> <p>(4)将来を担う人材の育成及び県内企業等への採用、就労の拡大 ○県外からの人材の還流促進</p> <p>(ウ)郷土を愛するこころの醸成</p> <p>(エ)国内外からひとを呼び込む新たな展開 ○文化・芸術・スポーツなどによる交流人口の拡大 (県北芸術祭・サイクリング等)</p> <p>3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>(7)若い世代の経済的安定 ○若者の雇用の安定と経済的自立の支援</p> <p>(4)結婚支援の充実 ○全国にさがけて開始した出会いの場創出の取組拡充</p> <p>(ウ)妊娠・出産・子育て支援の充実 ○安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり</p> <p>(エ)仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現 ○女性が活躍できる環境づくり</p> <p>4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する</p> <p>(7)人口減少下におけるまちづくり・地域連携の推進 ○地域公共交通の維持 ○県北地域の振興</p> <p>(4)人口減少社会、超高齢社会における生活支援サービスの維持 ○生活支援サービスの維持</p> <p>(ウ)風評の払拭</p>
<p>総合戦略の推進について ・P D C Aサイクルによる進行管理 ・市町村や産官学金労言等の関係機関との連携促進</p>			